

Subject: 対馬海峡🤔ホンダワラ狂騒曲🎵

ISPA の皆さまヨットお仲間の皆さま

そして、舵社 KAZi 中島淳編集長

こんにちは、佐世保九十九島からヨット Yukikaze 田中洋です。

コロナと無縁の海上シングルハンド生活はもう2ヶ月間を過ぎました。今般、約2週間のクルージングをしました。長崎県 佐世保 九十九島の発着で、

『対馬一周、壱岐島、博多湾を巡るクルージング』。小生が名付けて「魏志倭人伝クルージング」を終えて母港の佐世保九十九島パールシーマリーナに今日無事帰着しました。有り難うございます。

航海距離、360 NM（佐世保から沖縄本島までの片道で8割くらいの距離）

実航海日、9日間一日平均、40 NM そして特筆すべきこと。

南から漂流して来る海草ホンダワラがかなり頻繁にスクリュウ軸とスクリュウに絡み付くことです。

めちゃくちゃ大変です。

航海中はずっと海面を警戒注視して、見つけたらすぐに回避操船します、、が、、。

港で毎回ヘルメットを被り船底に潜り、手鎌で海草を切除したのはすべての寄港地（と臨時寄港地）です。もし4月や5月、また6月に対馬海峡や黒潮の本流や支流をクルージングされる時のご参考情報です。

今回のクルージング期間中は、

毎日入港した港と臨時に入港した港で、船底に潜って、スクリューやスクリュー軸に絡み付いた漂流海草ホンダワラの切除作業が必須でした。船底潜りをした港がそのままクルージング寄港地のリストと同じです。船底潜りの目的だけで30分か40分立ち寄った臨時寄港地もあります。

以下は船底潜りの時系列。すなわち、発着の佐世保九十九島と平戸港を除いたすべての寄港地です。

壱岐島、南部の郷ノ浦

対馬、最南端の浅藻あざも

対馬、北西端の佐須奈（釜山に最短の日本の港）

対馬、最北西端の大浦湾（臨時入港）

対馬、北東端の比田勝

対馬、南西部の巖原

壱岐島、北西端の勝本

博多湾、西福岡マリノア（修理で業者がマスト登り）

博多漁港、長浜ラーメン岸壁

佐賀県、呼子（臨時入港、活イカお造り目的ではなく船底潜りのためだけです）

合計9つ港です。

今回のクルージングで、

対馬厳原で一緒に、また博多湾奥の長浜ラーメン岸壁で再会した姫路のシングルハンダー30代の青年（安井さん）。

何と！！ 対馬海峡のど真ん中でフネを止め（エンジン停止、セールダウン、舵は片側固定）で何回か潜って手鎌を使わずに腕力で引き千切ったという剛の者の話を聞き、度胸あるなぁと感心しました。

小生も対馬の東沿岸を南下中に海草ホンダワラが絡みフネを止めて対馬海峡のど真ん中で船底潜りの誘惑に駆られましたが、いい歳を考えてヤメました。

対馬海峡、東水道（1905年5月27日の日本海海戦の舞台）のど真ん中で、何回か船底潜りする、度胸ある姫路の若手ヨットマンの取材をされては如何でしょうか！

(安井さんは KAZi 編集部の誰かと友人と言っていましたよ。) お陰様で自分としては所  
期の目的意識を完遂できる有意義なクルージングだと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

田中 洋

ヨット Yukikaze

佐世保九十九島パールシーマリーナ

ps

写真は長崎県、北九十九島の高島灯台を目指して、本日午後。

船尾の海草ホンダワラ写真は壱岐島の勝本漁港で潜った収穫です。





Subject: 大村湾を周遊

琴風会の各位

数日前から佐世保九十九島パールシー発にて大村湾をブラブラしております。

写真は、

二島、黒島、ヨット部艇庫がある臨海研究所、オーシャンパレス GC & リゾート

ヨット Yukikaze 田中 洋







